

小・中学生で受ける定期予防接種

問合せ ココット(小川町子育て総合センター) ☎0493-81-6181

予防接種名	対象年齢	接種をお勧めする年齢・接種回数と間隔		注意点等
日本脳炎	9歳～13歳未満	2期	9歳～10歳に至るまでを標準的な接種期間として1回接種	※下記の年齢で積極的勧奨の差し控えによって接種機会を逃した方に特例措置として、不足分の接種を受けることができます。 ・平成17年4月2日～平成19年4月1日生まれの方は20歳未満(誕生日の前日)までの間、1期の不足分と2期の接種が可能です。 ・日本脳炎定期予防接種では、満16歳以上の方の接種について本人の同意で接種できます。
二種混合	11歳～13歳未満	2期	※小学6年生の方に1回接種	※【令和7年度の対象者】平成25年4月2日～平成26年4月1日生
子宮頸がん	小学6年生～ 高校1年生相当の女子 (標準的には中学1年生相当の女子)	【サーバリックス:2価ワクチン】 標準的には1か月の間隔をおいて2回接種後、1回目の接種から6か月の間隔をおいて1回接種		・接種を希望される場合は副反応等について十分理解した上で接種してください。 ・副反応等の情報は厚生労働省ホームページにてご確認ください。 ・ワクチンの種類により接種間隔・接種回数異なります。 ※13歳以上(中学1～高校1年生)の方の接種に保護者が同伴しない場合は、保護者の「同意書」が必要です。 ※13歳未満の方の接種に保護者以外の方が同伴する場合は「委任状」が必要です。
	【キャッチアップ接種 経過措置】 キャッチアップ接種期間が令和6年度末までであるところ、令和6年夏以降の需要の大幅な増加に伴う限定出荷の状況等を踏まえ、期間中に1回以上接種している方については、期間終了後も公費で3回接種が完了できるように経過措置を設けることになりました。 ●対象者 ※以下の条件全てにあてはまる方 ・平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれの子(性) ・令和4年4月1日から令和7年3月31日までの間に少なくとも1回以上子宮頸がんワクチンを接種している方 ●期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで	【ガーダシル:4価ワクチン】 標準的には2か月の間隔をおいて2回接種後、1回目の接種から6か月の間隔をおいて1回接種 【シルガード9:9価ワクチン】 初回接種開始年齢によって接種回数異なります。 15歳になるまでに受けると2回、15歳になってから受けると3回接種が必要です。 (2回接種の場合) 標準的には6か月の間隔をおいて2回接種(3回接種の場合) 標準的には2か月の間隔をおいて2回接種後、1回目の接種から6か月の間隔をおいて1回接種		・母子健康手帳又は接種済証で接種履歴をご確認ください。 ・接種を希望される場合は、副反応等について十分理解した上で接種してください。 ・副反応等の情報は厚生労働省ホームページにてご確認ください。 ・ワクチンの種類により接種間隔・接種回数異なります。 ・子宮頸がん定期予防接種では、満16歳以上の方の接種について本人の同意で接種できます。

こどもの定期予防接種の受け方

実 施 期 間	
持 参 す る も の	母子健康手帳・予診票・マイナンバーカード又は健康保険資格証(体調不良で薬が処方されると必要になる場合があります。)
費 用	無 料
ご 注 意	・予防接種には原則保護者の方が同伴してください。13歳未満の方の接種に保護者が同伴できない場合には、「委任状」をお書きください。 ・対象年齢を超えると、任意接種(自費)となります。 ・特別な事情や長期療養のため対象年齢での接種ができなかった場合はココット(小川町子育て総合センター)までご相談ください。 ・予防接種法の改正等により、内容に変更が生じる場合があります。



中学3年生に相当する方にインフルエンザ予防接種費用の一部を助成します

小川町では、中学3年生に相当する生徒に対し、インフルエンザ予防接種費用の一部を助成します。

小川町立中学校に在籍している方には学校を通して、町外の中学校へ通っている方には個別にて通知する予定です。詳しくは、小川町ホームページをご覧ください。



赤ちゃんを望まれる方に風しんワクチン予防接種費用の一部を助成します

先天性風しん症候群を予防するために、町では赤ちゃんを望まれる方で風しんワクチンの接種が必要な方に、接種費用の一部を助成します。

なお、対象条件があります。詳しくは、小川町ホームページをご覧ください。